

再生の杜（清水建設技術研究所）

東京都江東区越中島三丁目4-17

登録者：清水建設株式会社

- ◆ 完成年月 平成 18 年 4 月
- ◆ 敷地面積 21,135 m²
- ◆ 緑地面積 2,567 m²（うち樹木面積 1,865 m²）
- ◆ URL : <https://www.shimz.co.jp/company/about/sit/facility/facility13/>

再生の杜は、「都市における生態系回復の実証フィールド」として、清水建設株式会社技術研究所内に創られたビオトープです。

常緑樹林、落葉樹林、草地、湿地、水域がエコトーン（環境移行帯）を形成し、多様な生きものの生息生育空間を創出しています。植物は周辺緑地の生きものの調査を行った上で、地域性に配慮してすべて関東圏産のものを植栽しました。

再生の杜の中心には約 650 m²の水辺空間があります。東京都の絶滅危惧種であるトチカガミなどが生育するとともに、カモ類やサギ類などの水鳥が頻繁に飛来し、トンボ類（16 種類）も確認され、生態系ネットワークに貢献しています。

2006 年の竣工以降、10 年以上にわたる長期モニタリングに取り組み、データを蓄積してきました。植物は植栽当初 200 種だったものが 10 年後には 296 種に増え、表土中の種子などから絶滅危惧植物を含む多くの植物が出現しました。樹木も当初 3~4m だったものが 10m 以上の高さになる等、順調に成長しています。モニタリング結果を生かし、除草剤・殺虫剤の使用低減、外来種対策など、生きものに配慮した維持管理を丁寧に続けています。



青少年を対象とした環境教育



コサギの採餌



「再生の杜」ビオトープ

江戸のみどり登録緑地

<優良緑地>

(2020 年 10 月登録)



EDO-MIDORI

在来種植栽情報

○面積割合

高木	78 %
中木及び低木	53 %

○在来種の種数

高木	61 種
中木及び低木	24 種

○おもな樹種

クヌギ、コナラ、アキグミ、
ウツギ、アセビ、イボタノキ ほか

また、技術研究所で実施している青少年向けの公開講座「シミズ・オープン・アカデミー」などを通じて年間 3000 人~4000 人が訪れ、環境教育の場として活用されています。都市における人と生きものの関係の再生を目指し生物多様性の向上に貢献していきます。